

キャリアセミナー（国際貢献）

【テーマ】ムスリムの生活と食文化（ハラール生活を各家庭へ）

【日 時】平成 26 年 11 月 6 日（木）

【講 師】レモン史視さん NPO 法人日本ハラール協会 理事長

\*\*\*\*\*

【感 想】

●いろいろ教えていただきました。中国では回族という少数民族がありイスラムとされています。中国ではハラール認証の商品が売られ、ハラールの市場もあるが、彼らの生活については無関心と言えます。今日のセミナーを通して、やはりハラールの生活は日本でいろいろ不便があることが分かりました。それとイスラムに対する認識が若干変わりました。巷ではテロ事件が起こされ、イスラムの人に悪いイメージがあります。今日レモンさんから「自爆テロ」というものは教義に反するとうかがって、やはりそれは人々の誤解であると思いました。これからイスラムの生活はまだ大変ですが、周りの人々が差別しないように祈っています。

●ハラール生活について、疑問に思っていたことを説明して頂けて、少し理解できたように思います。私は以前イスラム教徒のご家族と関わりを持ちました。生活の中で、同じように行動できない部分があり、文化や宗教の違いを感じましたが、やはり食が一番難しいなと思いました。豚肉、アルコールは食べられないことは知っていましたが、「この肉はだめ」「このお菓子は乳化剤が入っていて食べられない」ということを伝えられ「これも食べてはいけないの？」「何故？」と驚くことが多かったことを思い出しました。一緒に食べる時は常に成分表を見て確認していました。今でも何気なく成分表を見ることがあるのですが、「イスラム教の方はこれも食べられないな・・・」と思うことが多いです。イスラム教徒の方が日本で生活するにあたり、壁となることが多く、不便さを感じられていると、今回改めて思いました。学校や幼稚園などの生活で、まだ文化の違いを十分理解できていない子供たちが、同じ給食、おやつを食べられないということは、日本の子にとってもイスラム教徒の子にとっても辛いことだなと思います。日本にもハラールについての理解が広がってきていると思いますが、もっと、文化、価値観の理解が進み、皆と一緒に食べられる給食ができるといいなと思いました。ハラールは日本の人にも良いものなので今後広がっていくことを期待したいです。また、私自身、日本の文化、イスラム教の文化と価値観について改めて考えたり、理解する努力をしていきたいと思っています。とても貴重なお話をありがとうございました。

●昨年度イスラム教徒の留学生が研究室に来ており、非常に日本での食事が大変そうだったのを覚えており、少しでもハラールやイスラム教について学べたら良いなと思い参加しました。食べられないものが多いというイメージしかなかったのですが、ムスリムの方が、信頼する教典にもとづいて本当に良いものだけを口にするという強い信念のもと行っているのだなとわかり、イスラム教への理解が少し深まった気がします。私自身、日本の良い食品を世界中に届けたいという思いから食品メーカーに就職することになったので、これからハラールはもっと身近になるかも知れません。日本でももっとムスリムの方が過ごしやすくなると良いなと思いました。

●普段あまり聞く機会のないムスリムについて知ることができて勉強になりました。

●あまりなじみのないテーマについて、実際に携わっておられる方からお話を聞く機会を持てて良かったです。

●イスラム教について、メディアの情報を信じ、誤解していたことが数多くあったので、このセミナーを受けて本当に良かったと思う。付き合いが難しいのかなと思っておりましたが、それは日本が理解に乏しいためだと分かり、本当にグローバル化を目指すには相互理解を進めることが必要だと感じた。